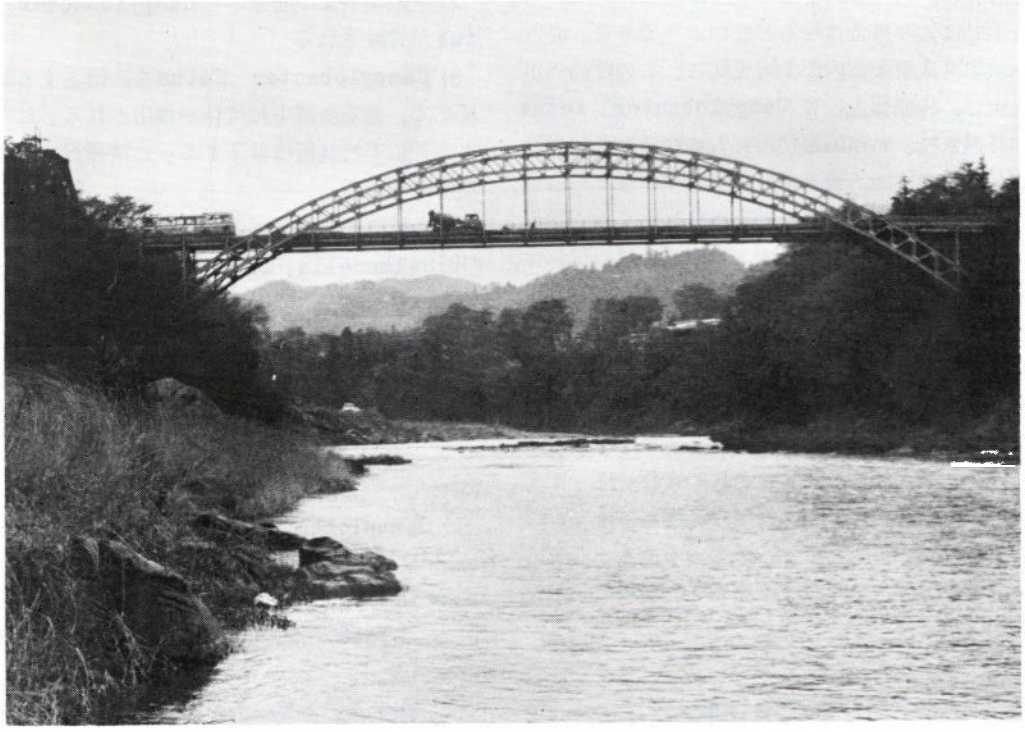
西多摩医師会報

第81号 昭和54年6月



調布橋　原田広吉

目　　次

学術
キャンピロバクター腸炎
青梅保健所長…根津　尚光…2
理事会報告……5
文芸・随筆
空白……堤　次雄…6
選挙事務長奮戦記……池田　聖…8
春霞月夜見山行……小泉　新策…10
保険部だより……10
太原先生を憶う……進藤　利定…11
おしらせ……12
談話室
村のある子供との12年のつきあい
内田　萬次…13
亭主の休日……松原　貞一…15
事業部だより……17
医師会日誌……18
同好会だより……19
あとがき……21

学　術

キャンピロバクター腸炎

東京都青梅保健所長　根　津　尚　光

I　はじめに

われわれにとって、聞きなれない疾患であるが、実際はかなり多い疑いがもたれる。欧米でも6年位前から、人の疾患として報告が出はじめている。日本では人の報告は殆んどないようである。最近東京都東久留米市内の某園児間に、この胃腸炎が発生し、病原体として **Campylobacter fetus** が分離され、わが国最初の報告になるかもしれない。今後の診断、検査に当り留意すべきであろう。

この菌による疾患は、獣医界では古くから知られている **Viblio** 病で、牛、豚、羊、鶏の下痢症、流産又は鶏の肝炎などが含まれている。時に人への感染ありと記載されていたものであるが、従来、血液からの分離しかできなかった。　1973年 **Butzler, J. P.** ら（**Brussels**）の培養法の改良により、糞便からの分離に成功するようになってから、クローズ・アップされてきた。従って今後は下痢症診断に際し、既知の原因に加えて、この菌属についても考慮すべきものである。若干の文献を通読し、その概要を整理し、参考に供したい。

II　臨床的特徴

文献を概観すると次のような症状および特徴がみられる。

1) 発熱。時に悪寒ではじまる発熱が、24時間～4日位つづく、時にうわ言を言うこともある。

2) 疝痛様のはげしい腹痛が特徴。吐気、嘔吐をともなうことがある。腹痛は間欠的で、上腹部、中腹部にあり、腹部穿孔と誤まり手術を行った例もある。腹痛は1～3日の例が多い。

3) はげしい下痢便。次第に移行する場合と、突然はじまるときとがある。下痢便は、水様性、時に血液、膿を混ずることがあり、腹痛と共にはじまる。多くは3～7日間、時には10日間又は5週間続いた例がある。

4) 頭痛、背部痛、四肢痛、脱水症状、時に脳膜刺激症状がある。

5) 成人は長引き、小児ははやく回復する傾向がある。

6) 時にぶりかえし、再発があることがある。

7) 下痢便および血液から **Campylobacter fetus** が分離される

8) **Campylobacter fetus** を抗原とする凝集反応で、患者血清中に抗体が検出される。しかし1か月位で抗体価は低下する。血清稀釈80倍以上を陽性とする。

9) 各種抗生剤が有効。薬剤名とMICは後述する。

10) **Salmonella, Shigella sonnei, Parasite** の重量感が時にある。

11) 診断は、発熱、烈しい腹痛、下痢便があり、下痢便から **Campylobacter fetus** が分離され、血清中に凝集抗体が上昇していれば確実である。

III　細菌学的事項

1) **Campylobacter** という名称は、M. **Sebald and** M. **Véron**（1963）が土壌から発見した **Vibrio** に対する属名（**Genus**）としてつけたもので、**Greek** に由来し、**a curved rod** を意味している。

2) **Bergey's Manual of Determinative Bacteriology, 8th edn. Baltimore, Williams and Wilkins, 1975** によれば、無芽胞ラセン状又はS字状のグラム陰性桿菌で、0.2～0.8×0.5～5 μ。端在性鞭毛を有し、コルク栓抜き様の活発な運動をする。微好気性菌である。オキシダーゼ陽性、インドール非産生、V—Pテスト陰性、色素非酸性、糖の発酵、酸化なし、硝酸塩を亜硝酸塩に還元する。本菌属は、表—1のように分類される。

3) この分類のうち、人に病原性のあるものは、**fetus s. jejuni and intestinalis** の両亜種である。

4) 培養法は、i) 糞便のブイヨン・サスペンジョンを作り、その遠心上清液を mean **pore size** 0.65 μ の Millipore **filters** を通過させた戸液を **plain**

表－1　キャンピロバクター属の種・亜種の分類・鑑別の性状

Family	Genus	Species	Subspecies	Catalase	Nitrite Reduction	H_2S on TSI	H_2S lead acetate strips	1% glycine	3.5% NaCl	25°C
Spirillaceae	Campylobacter	fetus	fetus	+	−	−	−	−	−	+
			intestinalis	+	−	−	+	+	−	+
			jejuni	+	−	−	+	+	−	−
		sputorum	sputorum	−	+	+	+	+	−	+
			bubulus	−	+	+	+	+	+	d
		fecalis		−	+	?	+	+	+	d	−

d = some (less than 90%) strains positive, some negative.

? = reaction not known.

TSI = Triple sugar ion agar.　iron

blood agar で培養する。培養温度は、37°Cでは48時間、特に **C. jejuni** の場合は、43°C が至適培養温度で24時間で発育する。両温度で培養した方がよい。

Millipore **filters**を使用する方法は、**Butzler J. P. et al (1973)** が記載したもので、**Campylobacters** は**Millipore filters**を通過する程小さく、他の菌は通過を抑止されることを利用したものである。この方法の採用により、糞便中の他の菌の**overgrowth**により検出不可能であったのが成功するようになった。その後、更に厚生物質を使用することにより、Millipore filters を使用しないでもよくなった。使用する厚生物質として、**Vancomycin(10 mg/l)**, polymixin B(2.5 IU/ml), **Trimethoprin**(5 mg/l) 又は**Bacitracin** (25 IU/ml), polymixin B sulfate(10 IU/ml), Novobiocin(0.005mg/ml) and **Actidione**(0.05 mg/ml) があげられ、これを15%の割合に脱線維牛血液又は羊血液を加えたFlorent, A. (1959)の**brilliant-green medium** および**fluid-thioglycolate-agar medium** (**Difco no. 0256-01**) に添加した培地に接種し、N_2-95%, CO_2- 5% の割の混合気体で、⅔を置換した環境中で、37°C、最短3日間培養する。ii) 血液からの培養は、採血後、抗生物質と脱線維牛又は羊血液を加えた **Thioglycolate- agar medium** に培養する。微好気性条件、温度条件および培養日数(3日間)を守ることは上記の通りである。iii) 血清による凝集反応 ── 菌のFormolinised **suspension** を用いて患者血清中の agglutinins を検出できる。1：80以上を陽性とすれば、5病日で検出できる。4倍以上の上昇が見られれば確実である。しかし比較的早く(約1か月以内)、凝集価が低下する傾向がみられる。iv) 下痢便の培養に当っては、Shigella, Salmonella, **Yersinia, Enteropathogenic Esherichia coli, Viruses** (**Rotavirus** etc), Protozoa などを考慮して、それぞれに適切な培養法、検出法を併用すべきであることは云うまでもない。

5) **C. jejuni**のえん下実験(**Steel, T. W. et al, 1978**)：菌をえん下して3日後、漠然とした腹部不快感で症状がはじまり、4日目に菌が糞便から検出され、その後4週間続いた。下痢は5日目にはじまり、2日間続いたがはげしくなかったが、痙攣性の腹痛が3日間つづいた。4週間半後に症状がぶりかえしたが、その時の糞便からは菌が検出されなかった。

Ⅳ　疫学・予防・治療

1) **C. jejuni**の検出率：

Lauwers et al：下痢便の5.9%普通便の1.3%

Steel et al：下痢便の1.9%, 全検体の1.08%
7～9月には8～9%に上昇する。

Skirrow：下痢便の7.1%, 水様便の15%

De Mol et al: 下痢便(小児)の11%, 非下痢便(小児)の0%

Butzler et al: 下痢便(小児)の5.19%, 非下痢便(小児)の1.3%

2) 感染源：人獣共通感染菌で、家畜、家禽をはじめ自然界の動物が感染し、また保菌している。従ってその排泄物、汚染食肉、殺菌不十分な牛乳または乳製品、ゴキブリ汚染食品、感染または保菌者により調理された食物、汚染された水道、井水、その他の水、健康保菌者および患者の糞便、汚染土壌などがあげられる。

3) 感受性：年令、性に無関係。年令の低い子供に分布が多い。

4) 予防：一般経口伝染病、食中毒の予防に準ずればよい。

5) 治療：MIC(μg/ml), carbenicillin 200, penicillin, polymyxin 50, cephalothin 25, oxacillin 12, kanamycin, chloramphenicol, erythromycin, streptomycin, ampicillin 0.07, tetracycline, gentamicin 0.007.

文　　献

1. Skirrow, M. B., Campylobacter enteritis: a " new " disease, British Medical Journal, 1977, 2, 9-11.

2. Cadranel, S., Rodesch, P., Butzler, J. P., Dekeyser, P., Enteritis due to "Related Vibrio" in Children, Am. J. Dis. Child, 1973, 126, 152-155.

3. De Mol, P., Bosmans, E., Campylobacter enterits in Central Africa, Lancet, 1978, 18, 604.

4. Lauwers, S., Le Boeck, M., Butzler, J., P., Campylobacter enteritis in Brussels, Lancet, 1978, 18, 604-605.

5. Steele, T. W., Mc Dermott, S., Campylobacter enterits in South Australia, Med. J. Aust. 1978, 2, 404-406.

6. Dekeyser, P., Gossuin-Detrain, M., Butzler, T., P., Stermon, J., Acute enterits due to related vibrio: First positive stool cultures, J. Infect. Diseases, 1972, 125, 4, 390-392.

7. King, E. O., Human infections with Vibrio fetus and a closely related vibrio, J. Infectious Diseases, 1957, 101, 119.

8. 農林省家畜衛生試験場編、家畜伝染病の診断、1976, 446—455。(文永堂発行)。

理事会報告

I　報告事項

1.　三多摩庶務連絡会報告（内山副会長）

4月20日西多摩医師会が幹事役となり開催内山司会のもとに進行しました。

(1)都医の庶務担当理事の本会への出席を要望する提議が南多摩よりありました。
必要の場合年一回くらいなら、連絡して出席してもらう事とする。

(2)各市医師会における役員改選方法について南多摩より提議あり。
定款には選挙により選出することになっているが、実際には選挙前、立候補者調整によって、選挙なしで決定しているのがならわしになっているようである。

(3)国保、社保の審査委員（療養担当者側委員）の手当について府中、西多摩より提議あり。
国保、社保委員については医師会より差別があり、例えば国保委員3万円社保委員4万円等である。都に出張すると都から6,000円旅費が出る。国保の場合は1,500円であるが、6,000円に統一したらどうか。

(4)役員の給与について調布より提議あり。
給与については各委員会夫々に考え方にも違いがあるようで、従ってその額にも大差があり、10万～5万円から6,000～2,000と種々である。
北多摩、調布は月々会長、副会長、理事により差をつけて給付し、会合に出席の場合には更に上のせしている。三鷹、杉並は一定額を一率給付である。西多摩其の他は会合に出席した場合のみ給付している。

2.　東京都代議員会報告（瀬戸岡副会長）

4月24日午後2時から日本医師会館講堂で行なわれた。出席者110名（総数126名）。役員改選が行なわれたが立候補者数が定員を満たしたので選挙を行なわず決定された。
会長は渡辺真言先生が再選された。副会長は羽田春兎、米島正一両先生が決定。三多摩からは理事に松永努、（小平）小木曽学（府中）監事に飯野孝三、（調布）　医道審議会委員に坂本保（西多摩）の各先生が決定された。

3.　保険部報告　　（西村理事）

4月21日土曜日立川社会保険事務所長と、給付課長寺田技官と、西多摩医師会保険部で立川において懇談会を行った。この際今回事務所に給付専門官が出来たので、かかる会合には出席させてほしいとの希望であった。

4.　学術部　　（大橋理事）

健康上の理由で学術部の責任者としての地位を辞任したい。了承された。

II　協議事項

1.　昭和54年度臨時総会日程について

5月26日土曜日　午後2時より講堂において開催と決定。

2.　其の他

医師会職員藤田フジエ氏の出版記念祝賀会について川崎理事より発言あり。広報部一任と決定。

3.　新入退会者

全員承認される。

（記　米山）

文芸・随筆

空　　白

堤　　次　　雄

あれから4、5年は経ったのかなあ、いや、も少し以前の事だったかもしれませんよ。

髪の毛の白さが増え老眼鏡の度が強くなる程に私の記憶も定かではないようです。

最近の私は特に記憶も古いことや新しいことが混線するしさ。実にあやふやなものですよ。

あの日は南の風が強くて砂埃りと一諸に梅の白い花びらが雪のように宙に舞っていました。

その前の日でした。松羽先生から「医学講演会に行きませんか、東木先生も行かれるそうですよ」と電話で誘われたのです。

私もその日は別に予定もなかったし、久し振りの聴講とあって一諸に行くことにしました。

日頃、私が外出するとなると女房は「今日は何処で何の集り？帰りは何時頃になるの？餘り飲まないで、あんたもトシのこと考えるべきよ」

ざっとこんな調子で嫌味を云うのです。

私が夜外出すると帰りは必ず午前様です。

二日酔いの青い不気嫌な顔で、しかも辛らそうに仕事をしているのを見ては一言云い度くもなるのでしょうよ。云われても仕方ありません。私も諦らめてますよ。

しかし、その日は違ってましたね。

あの一見堅人の両先生が誘って然も学問に行くと云うのですから女房もニコヤカに快よく送ってくれたものです。

講演会は某新聞社の講堂でありまして、薬物の中毒疹、アルコール中毒、その他2、3の題でその道の権威の話を真面目に聞きました。

重い頭で会場を出た頃は薄暮の中にネオンが青、赤、黄金色にときらきら輝き始める時間になっていました。

三人の田舎紳士は久し振りの銀座の夜風を思い切り吸い込んだのであります。

私達三人は感慨深げに「わし達の町とは全然違いますなあ。ごらんなさいよ、あのネオンの輝き、豪勢さはどうですか、さすが銀座ですよ」と語りながら歩いたものでした。

松羽先生は「折角出て来たのですよ。踊りでも見て帰ろうじゃないですか」と云いました。

私達二人も兎に角、鳥籠から飛び出て来た小鳥の様なうきうきした気分でいましたから直に同意したのです。

劇場で切付を買ってからの東木先生は俄然足早やとなって階段をかけ上ります。幸いに丁度入れ代え時で客は少なかったのですが正面かぶりつきに座ることが出来ました。

その敏捷さは普段の彼を知る私にとっては実に驚きでした。さすが元帝国海軍の士官候補生です。海軍では、特にあの狭い艦内では機敏さが要求され、いざとなると生きてくるのですね。

松羽先生を真中にして座ったが、フィナーレのダンス、あれは良かった。見応えあったなあ。

20人くらいの若い踊り子が腕を組み横一列に並んで自慢の脚線美を競うかの如くに見えました。彼女達は軽快なリズムに合わせて長くて格好いい白い脚を一勢に頭の高さまで上げて踊るのです。照明燈の光に照らされて踊る彼女達の躍動は美しい。何たって女の魅力は腰から下、脚ですよ。彼女達が脚を上げる時、シュッ!!と風を切る音がします。私達の席から手を伸ばすと彼女達の脚にさわれそうな感じでした。

ショーが終り外に出て再び銀座のネオンを眺ました。冷ややかな夜風が私達の頬を撫でて通り過ぎていきます。

松羽先生は「反省をしましょう」と云い何の反省だか知らないが二人共直ぐ同意し彼の案内で東北料理を売り物とする店に席をとりました。

そこは四畳半の部屋で回りは黒く煤けた板を使ってあって田舎の家に居るのでは？と錯覚しそうな作りでした。

その部屋の壁には何故だか陸軍上等兵の軍服が一つ掛っていました。

カスリの着物を着た美女の酌を受け杯を合わせながら、「いい気分じゃないですか、働くばかりが能じゃなし、限られた一生ですぞ」と気勢を上げ、「西多摩医師会万才、銀座万才、踊り子万才、何でも万才だ」と云う調子で乾杯を重ねました。

日頃、謹厳なる東木先生の目尻は下がり私が話しかけても上の空のようです。

「踊り子の汗と臭いを吸いこんでさ、何処かにほころびが無いもんかと探しとったら目に力が入って疲れたよ。エ、へ、へ。」

と急性踊り子性ホルモン中毒のようです。

松羽先生は盛んにくしゃみを連発。止めどなく流れ出る鼻水を吸すりながら杯を重ねていました。彼は可能な限り首を伸ばして踊り子に近づき彼女達の何かを吸い込んだらしいのです。

この日から彼は梅の花が散る頃になると毎年この症状に悩まされると云うことです。

陸軍幼年学校から陸大にすゝみ未は連隊長か師団長になり全軍に号令をかけるのが少年期の夢であった松羽先生にとっては壁にかかった上等兵の軍服は少年期の夢を呼びさましたかのようでした。彼の背筋はシャンと伸び、声は一段と大きくなり恰も連隊長と思わせる態度になっていました。

「近頃の若者の軟弱さは何としたことですか。俺達の若い頃は、、、」と勇ましい話が出て非常に興奮気味となっていました。

私達の気分は最高に昂揚されている時に、直ぐ隣に若いアベックが席を設けたのです。

松羽先生は我々との話だけでは飽き足りないのか、よせばよいのにアベックに杯をさし若者談義で議論をおっぱじめるのでした。

どんなはずみか彼はその女性と飲みっこをやり始めたのです。

東木先生と私もつられて酒のピッチが上ったようです。その頃、私にはもう思考力等はなく天井がぐるぐる廻り始め電燈が激しく揺れている感じになっていました。

突然です、私の隣に坐っていたその女性が私に倒れる様に寄りかゝり丁度私の胸に抱かれる格好になったのです。

彼女の髪の毛が私の顔をなでていたのを幽かに覚えています。

「お客さん、もう立川ですよ」との声にはっとして我に帰りました。

私は知らぬ間にタクシーに乗っていたのです。何故、一人でタクシーの中に居るのか考え様としても私の頭の中は鉛が入った様に重く、霧がかかった様にぼんやりして何も想い出せなかったのです。

翌々日、往診に行く時、運転免許証を失くした事に気付きました。

紛失届を警察に出さなければ、と思っていた矢先に電話がありました。

「土出さんですか。一昨日、一諸に飲んだ原野ですよ。覚えてますか。大分酔ってましたね。二日酔いしたでしょう。どういうわけですかね、私のポケットに土出さんの免許証が入っていたのですよ。中に150円入ってました。送りますから」

あのアベックの青年からでした。

私は受話器を握りながら、見えない彼に平身低頭して、あの夜の失礼と免許証のお礼を云いました。免許証は二日後に確かに私の手元に戻ったのです。勿論、謝礼金は送りましたよ。

数日後、東木、松羽の両先生と会った時、東木先生は「土出さん、あんたトイレに行くと席を立ったきり戻らんのだよ。態々トイレまで探しに行ったが居りゃせんし、何処行ったのよ。あの女の子があんたに寄りかかっていたが、あんたの手がスウッと彼女のマンマのところにいきそうになったのであんたの手を握って止めたよ。相棒が「やくざ」だったら大変だよ。まともじゃ帰れんね」

「全く先生のおっしゃる通りです。でも私は覚えていないのですよ」

（東木先生が私の手を握って止めたと云ったが彼の手はどうなったのだろうと気になるところです）

松羽先生は「先生がデレーッとなっている時にあの女が先生のポケットから財布を抜いたんだよ。そして男に渡した。ところがたった150円しか入っていない免許証だったと云うわけよ」

彼の推理は実に明快です。

「全くごもっとも、今後気をつけますよ。私は本当に覚えがなかったんですよ」

両先生の前で私は塩をかけられた若葉のように只管、うなだれたものでした。

私がトイレに行ってから2時間餘り、私は何をしていたのだろうか。

全く記憶にない空白の時間なのです。私が私でなくなっていた時間です。

覚えがない!!何とも恐いことではないですか、あれから私は銀座の街をふらふらと歩いていたのでしょうか。

或はある店先の石畳に腰をおろして道行く人達をぼんやり眺めていたのだろうか。

犯罪と係わりを持つこともあり得る。被害者となって哀れ一命を何処かで落す可能性だってありますよ。　〝空白の時間〟　今、思えば恐ろしい時間でした。

アルコール中毒の話を聞いたからって直ぐ体験に移すことはないんだよね!!

酒は旨く飲むべきものです。後味の悪い苦い酒にしちゃいかんよ。あんたもそう思うでしょう。

体は何時までも若くはないんだしさ。

時は流れているのよ。女房がよく云うように私もトシの事を考えるべきだった。

俺も馬鹿な男さ。

土出先生がチビチビ酒をやりながら語ってくれたものですが、最後は焼けくそ、自潮的でありましたが最近、先生の酒の上での失敗談は聞いていない。

選挙事務長奮戦記

池　田　　聖

「先生、助けると思って引き受けて下さい。事務長としてのお名前を貸して下さるだけで、あとは何もしなくていいんです。ただ事務所開きの時に、ひとこと挨拶していただければ結構ですから。絶対ご迷惑をお掛けしません」

当市の某市会議員立候補者と、その参謀長が私の診療所にあらわれてそう云うと、お二人は立ち上って最敬礼をした。

私は断り切れないので、奥へ行って家内の顔色をうかがった。

「おい、どうしよう？」

「およしなさいよ。私は知りませんよ。政治家と軍人は昔から大嫌いなんだから……」

「おいおい。余り大きな声を出すなよ。聞えるぢゃないか」

「あなたぢぁなくて、もっと他に適当な人がいないの？」

「そんな人が居れば、俺の所へなんか来やしないだろう。なんだか商栄会で決って、代表が頼みに来るところを、それなら直接候補者がいいということで来たんだそうだ」

全く気の進まない家内と押し問答の末、参謀格のSさんはすぐ近くの人でもあるし、候補者とも面識もあり、不本意ながらもお引き受けすることにした。

然しあとで考えてみると、選挙には殆んど関心がなく、連呼がうるさくて、選挙なんかなければいいと思っているような私が、選挙事務長をやることになったんだから、全く無茶な話である。

家内は云った。「私は協力しませんからね」

×　×　×　×

事務所は、私の家から歩いて2、3分のところにあった。

入口の事務所の看板を見ると、横の方に責任者として私の住所と名前が麗々しく書いてあり、事務所の中には、ひときわ大きく事務長として私の名前が書いてある。更に候補者の顔入りポスターの下の方に、掲示責任者として、やはり私の住所と名前が印刷されているのである。

こうなってくると、も早や名前だけというわけにはゆかなくなってくる。

仕方がないので先づ手初めに、医師会の先生方に片っ端からお願いの電話をする。松本先生にお電話した時は、先生から（若しも違反で留置されたら）差し入れてあげますから、安心して頑張って下さいと云われて大笑いしたが、あり得ないことではないので、急に不安が襲って来たりした。

留置されると云えば、選挙運動の個別訪問で、2日間留置されたという友人が家に来て、脅かして帰り、それでなくても反対だった家内は、それ見なさいとばかり、非難の目つきで人の顔を見つめた。

彼の話によると、違反が分っても、選挙権を守る建前から、選挙の日まで待って、投票を終えて出て来たところを逮捕するのだそうである。

選挙当日、私も投票所周辺に、それらしい人物がうろついていないかと気を配ったし、家に帰り

ついた時は内心ホッとしたものであった。

公職選挙法第221条から223条までの違反の罰則によると、4、5年位の徴役又は禁錮となっている。

×　×　×　×

「今8町内で候補者の街頭演説が始まりますので、ひとことお願いしたいと云っていますが…」

診療中に童顔の抜けきらない運動員が玄関に現われて云った。

私は何だ約束が違うぢゃあないかと思った。開所式の時に挨拶するだけで、あとは何もしなくていいと云ったぢゃあないか。一度でも応援演説をすれば、その都度やらなければならなくなる。

そこで幾分声を大きくして云った。

「あのね、私は名前だけで、何もしなくていいという約束だったんですよ。あなたに云っても仕様がないけれど、街角に立って挨拶して廻るのなら、私は事務長を辞めますよ。そう云って下さい」

文章にしてしまうと、隠やかに云ったようであるが、幾分興奮気味だったようで、運動員は慌てて駈けて行ってしまった。

よしこの際事務所の人にも、はっきり云っておいた方がいいだろうと考えると、すぐ事務所に向った。

事務所には、事務員3名と、運動員2名、他に陣中見舞の清酒をさげた人が1人、都合6人の人が居たが、私は事務所に入るなり云った。

「皆さんに一寸、お断わりしておきます。私が事務長をお引き受けしたのは、名前だけで何もしなくていい、開所式の挨拶だけという約束だったからです。街の中を挨拶して頭を下げて廻らなければならないなら、事務長を辞めさせて貰います」

事務所に居た人達は、何だかよく分らず、あっけにとられていたようであったが、出納責任者のB氏がニコニコして、

「先生、そんなことしなくていいんですよ。まあお茶でも飲んで下さい」と云ってくれたので、その場は納まったのであるが、この時思い切って云ったことが、あとの私の立場を非常に良くしたことは、全く予想しなかったことであった。

それ以来、皆の態度が変って、事務長、事務長と急に親切になってきた。

これは多分〝怒らせて事務長を辞められたら、忽ち評判になって得票に影響する。おだてておいて最後までやらせるに限る〟と思ったに違いない。

然しこうなると、たとえおだてられたとしても悪い気はしないもので、逆に次第に積極的に動くようになってきた。

例えば、事務所に激励の貼紙をしたり、朝事務所に顔を出す時間がだんだん早くなってきたりである。初めは診療開始15分位前に、お義理で出ていたのが、最後の日は7時半に事務所に行った。遂には駅前の街頭演説に、進んでマイクを持って一席ぶつ程になった。

ちょっと気のきいたことをしゃべって、今の演説は良かったなどと云われると、すっかりいい気分になって又やりたくなる。しまいには自分の演説に酔ってしまうようなことがある。候補者なんか多分、毎日酔いっぱなしではなかろうか。

尤も自分が酔ってしまうのではなく、大衆を酔わせるようでなければ意味がないが、そう思ってしゃべっていると、どういうわけか、片手を振り上げて叫けんでいるヒットラーの姿が浮んできて仕方がなかった。

×　×　×　×

選挙の結果は、前回1位だったのが7位で当選した。

閉所式の挨拶では、

「予期した得票数が得られなかった責任は、総て事務長の私にあります。然し私は、この結果は実態ではないと思う。新人候補者に同情票が流れたのであって、今回の得票は、将来変らぬ後援者の所謂不動票であり、本候補者の今后の市政への実績を見ていただき、それによって次回の選挙では、再び戻ってくる票の多いにあることを期待して閉所式の挨拶と致します。皆さんご苦労様でした」と述べた。

そのあと、夕やみ迫る野外の会場で、一段高い雛壇にあがって、当選祝の手品を演じた。

×　×　×　×

10日間の選挙戦を通じて、私は私なりに得るところがあった。

世間知らずの医者が、世間に目ざめたこと。色々の職業の人の知己を得たこと。選挙のノウハウ等である。

「もう懲りたでしょう」と家内が云うのを、私はうわの空で聞いていた。

春霞月夜見山行

小泉新策

卯の花や山吹さける杣道を
　登りて峠われを待つ風

月夜見の峰より遙かひんがしの
　谷間望めば我故郷あり

光明山大岳山と肩並べ
　東の空に悠然と立てり

御前山山頂はるか雲がくれ
　鶯とほく谷わたりせり

大羽根の古き牧場や古戦場
　笛吹峠墨絵の如し

保険部だより

西多摩医師会

診療報酬明細書返戻状況

2月分

返戻理由	医科（乙表）件数
1. 記号番号不備不明および保険者名（符号）不一致のもの	109
2. 国保・国鉄等基金と契約してないもの	1
3. 生年および患者名不備あるいは記載ないもの	8
4. 傷病名不備あるいは記載ないもの	6
5. 診療開始日・日数および転記不明あるいは記載ないもの	24
6. 日雇健保で給付期間の満了したもの	0
7. 初診・負担金・再診および往診料について不備不明のもの	8
8. 投薬の場合薬名・用量・回数等が不備あるいは記載ないもの	26
9. 注射の場合薬名・用量・回数等が不備あるいは記載ないもの	4
10. 投薬・注射・X線で点数算出根拠の不明なもの	6
11. 処置および手術で内容の不備なもの	6
12. 検査で検査名・回数・内訳の不備なもの	2
13. 診療内容と摘要欄記入事項とが不一致のもの	0
14. 診療内容および方針の説明を要するもの	8
15. 上記事項に該当しない不備・不明のもの	0
計	208

大原先生を憶う

進　藤　利　定

厚生年金会館内厚老会事務局で発行している小冊子、厚老（昭和53年11月1日発行）に大原先生の玉稿「私の期待するもの」が記載せられこの小冊子を今年のお正月先生から御送り載いたので之を読んでみますと医学はおろか政治経済、文化、歴史等あらゆる面にわたって、博学多才91才の高令とは思えぬ記憶力の強さには只々敬服の他は御座いませんでした。そこで、御礼旁々敬意を表すべく、先生を御訪ねしたのは、たしか二月中旬頃であったと思います。久し振りでお会いしましたが、91才とは思えぬ程の御元気であられ、先生が去る3月8日、往診から帰宅後間もなく不快感を訴えられ、左片麻痺症状を呈するに至り、即日青梅市立総合病院に御入院、到れり尽せりの療養も其の甲斐なく、去る4月15日、世は正に新緑、万物生成発展の好季節にもかかわらず、幽明境を異にせられました事は誠に痛惜の極みでありまして、私が去る2月お訪ねした時は夢想だに出来ない事でした。然し今にして思えば、神様のお知らせとでも申しましょうか、あの時の訪問は、この世の別離の御挨拶に御伺いした様な気がしてなりません。先生は岐阜県多治見町の御出身で、明治21年7月の御誕生ですから、私より丁度10年の先輩であります。大正元年3月、当時の千葉医専卒、直ちに当時泌尿科で有名であった阿久津病院に勤務せられ、後には副院長になられたそうですが、在任中先生は三井財閥の大番頭、団琢磨氏の主治医として団氏の中国視察旅行に随行、中国各地を歴遊されたそうで、此の事は先生にとっては余程楽しい懐かしい憶い出であった様で酒席の時など屢々拝聴したものです。越えて大正9年東大医学部法医学教室に入局、三田教授指導の下に研究を積まれ、昭和2年6月、東大より医学博士の学位を授与されました。実は私も大正10年4月東大三浦内科に入局しましたが、当時は東大万能の時代で、医専出身者は、介補と云う名目で入局し、相当の差別待遇を受けた様に記憶しておりますので、その様な恵まれない環境の中で、先生が学位を得られた事は、如何に先生が優秀な頭脳と自らの信念は飽く迄も貫くと云う確固不抜の精神の持ち主であり、又偉大なる努力家であったかを物語るものであろうと思います。次で同年9月より、東大稲田内科に入局、一般内科特に腎臓病に関する研究をなされ、越えて昭和7年4月より、阿佐ケ谷に於て開業されましたが、何等かの事情に依って昭和12年12月浅草に転地開業大原病院を経営、盛業を極めて居られましたが、惜しくも戦災のため全焼、誠に御気の毒の限りであります。次で同年4月西多摩郡吉野村に疎開同年5月より当時の吉野村国民診療所長として勤務されました。診療所在任中は患者さんへの思いやりと親切をモットーとして、診療に従事して居られましたので、住民の信頼と尊敬を一身に集めて居られましたが、昭和31年4月、青梅市の職員服務規定に依り、吉野地区の住民に惜まれつつ停年退職されました。さて大原先生と私とのそもそもの出会いは先生が梅郷診療所を退任された頃からであります。或日如何なる用件であったかは失念しましたが、先生が拙宅を訪問下さいました。種々話しあっている間に、先生の話も極めて卒直であり、ザックバランであるので、お互いに意気投合し、再会を約して帰られました。其の後間もなく再び会い度いとの電話がありましたので、今度は杯を傾けながら話そうじゃないかと云う事で、確か寿々木家であったと記憶していますが、御座敷気分を味わいながら、さしつさされつ痛飲しましたが、先生も左の方は仲々のつはものでした。その後ちょいちょいドリンクの機会を設けて、お互いに談論風発いつの間にかお互いに遠慮なく話しあえる仲となりました。ところが或日の事、測らずも先生から次の様な相談を受けました。それは「大原先生を担当医師として進藤医院に内科を持設しないか」と云う事でしたが、いづれにしても即答は出来ませんので改めて御返答しましょうと云う事で別れました。其後私は熟慮の結果、次の様に御答えしました。それは「大原先生は十年余の長きにわたって吉野地区で診療に従事せられ、その令名高く、先生を信頼する患者さんも多勢居らるるので、此の際吉野地区で医院を開設なさるのが先生にとって最善の方法である。」と切に御

薦めしましたが、先生は開業に対してはあまり希望なさらぬ様でした。その後暫らく御便りがないので如何なされたかと心配していたところ、其後先生は同窓の後輩故山田正礼先生（福生の山田正哉先生のお父様）を御訪ねになって、開業の件を御相談になった由、ところが山田先生は即座に何が何であろうとも、此の際開業すべきであると強く進言され、わざわざ大原先生の自宅に一ケ月も通って、開業に対する準備工作に就て、相談の相手をされたとの事でした。私はのち程この話を大原先生からお聞きして山田先生の同窓としての深い友情に胸せまる感激を覚えた次第です。斯くして大原先生は医院開設に対する私の薦めと、同窓山田先生の誠意あふれる強い進言と、積極的な開業準備協力に依って、昭和33年2月に目出度く現在地に開業なされ、其後順調に、発病される迄患者の診療に従事された次第です。先生が開業された翌年であったと思いますが、日本ケミカルコンデンサーが診療所を開設し、市立総合病院から医師が出張診療をして居りましたが、この事は総合病院創立当時、初代市長中村来内氏と青梅医師会との約束事項に反するので、私は総合病院長とケミカル社長に面会を求め総合病院は出張診療をなすべきではない理由を縷々説明して、御諒解をいただき、後任に大原先生を嘱託医として推薦した事を記憶して居ります。先生はその後御他界なさる迄嘱託医として勤務なさいました。さて最後に先生自身の日頃の健康管理に就いて申し上げますと先生は特に厳しい養生はなさらなかった様ですが、好き嫌いなくすべての栄養品を摂取された様です。只非常に丹念に咀嚼され、どうしても咀嚼できない滓は、必ず吐き出すのが習慣であったそうです。奥様のお話に依ると、若い頃糖尿病があって餡入りの御菓子は召しあがらなかったとの事ですが、この事は大原先生から直接聞いて居りませんので真性の糖尿病であったか又は腎性であったか不明ですが若し真性の糖尿病であったとすれば、糖尿病患者でも養生すれば、大原先生の様に天寿を全うする事が出来ると云う立派な御手本を示して頂いた訳で、糖尿病患者にとっては、一大福音であろうと思います。猶先生は昭和32年以降中郷老人会の会長として会員の精神的肉体的健康の保持増進への指導に精魂を傾けられたため会員は先生を神様の如く尊敬し、親の如き親近感を持っておられたとの事です。以上大原先生の憶い出を思い出す儘にまとまりのない事を書き連ねましたが、私も何とかこれからでも先生の足跡をたどりつつ先生の歩かれた最終の地点迄、辿り着きたいものと念願しつつ、先生の御冥福を祈って筆を擱きます。大原先生のみたまよ!!とこしえに御すこやかに。

お知らせ

1 東京都医師会各種委員会委員名簿

（本会より出席者）敬称略

医師急増に対する医師会の在方委員会	委員	内山　大
公衆衛生委員会	〃	松原　貞一
学校医　〃	〃	川崎健一郎
社保　〃	〃	杉本　一
国保　〃	〃	瀬戸岡　進
苦情処理〃	〃	西村　邦康
広報　〃	〃	箱崎　淳
地域医療推進委員会	委員	高水　武夫
救急医療対策　〃	〃	宮川　栄次
国保審査員		西村　邦康
〃　〃		箱崎　淳
社保　〃　（6月改正の予定）		杉本　一
福祉委員会　委員		未　定

2 一般会員の自由な意見発表の場 金曜会　に御参加を

世話人　吉野　住雄

発端は青梅市と羽村町の接点に計画されているK病院の建設に批判的な意見をもつ会員が集り、会合を開いたことから始った会ではありますが、会合を重ねるうちに私達一般会員の周囲に山積する問題を、ひとつひとつ取り上げて自由に討論する会にしたいという空気が生れて参りました。

私達はK病院問題を討議する経過において多くの事を学びました。その最も大なるものは西多摩医師会は私達一般会員のものであるという事です。西多摩医師会の運営は執行部にまかせ、問題が起

れば会長の諮問機関である委員会に属する少数の委員に任せる方法は結論をだすことを必要とする西多摩医師会の組織上はやむを得ないのでしょうが、それだけでは、執行部でもなく、委員でもない大多数の一般会員の声はどうして会の運営に反映させることができるでしょうか。従来、西多摩医師会にはブロック制度があり、ブロック内部でのみ一般会員の討論が行われていたと思います。西多摩医師会は一つなのです。ブロックの殻から抜け出して会員共通の問題を皆で話し合おうではありませんか。

私達は以下の問題をこれから討議したいと考えております。

1）　いわゆる適配について。
2）　自治体理事者、議員への働きかけについて。
3）　住民へのアピールのしかた。
4）　医師の今日的倫理。
5）　医師会役員の選挙方法は現状のままで良いか。
6）　営利主義的病院、老人ホーム等を排除する宣言について。
7）　K病院問題の討議と納得できる決着。
8）　金曜会のあり方について。
9）　医師会館について。
10）　園医、学校医等、身近の問題について。
11）　医師会執行部のあり方。
12）　医師会員であることのメリットは何か。
13）　会員の行動性。
14）　自治体議員選挙の推薦の基準。
15）　日本、都医師会と地域医師会の関係は上意下達の関係であってよいか。
16）　理事会は公開すべきか。

次回は6月15日（金）夜8時より西多摩医師会館にて開催の予定です。

議題は

1. K病院問題の決着
2. 金曜会のあり方、その他

を予定しております。多数の会員諸兄の御参加をお待ちいたします。

3恒例の医師会麻雀大会を下記要領で開催致します

日　時：7月21日（土）　午後2時
場　所：「すず」（河辺駅南口）
参加費：2,000円

今回は順位に関係なく、全員に豪華な賞品を用位しましたので、奮って御参加下さい。

和気アイアイとした雰囲気で行ないたいので、なるべく下手な方の参加を望みます。

談話室

村のある子供との12年のつきあい

内　田　萬　次

約12年も前の或る午后の事、3才の男の子が家の二階の階段から真逆様に落ちて頭を強く打ち、様子がおかしいからと往診をたのまれた。早速駈け着けて見ると、四肢に軽い痙攣があり、両眼はつり挙げて、顔面蒼白、脈膊微弱、不整、意識不明。これは大変と、すぐ診療所に連れて来て、点滴。約一週間の入院で一応無事退院に迄漕ぎつけた。此時が彼とのはっきりとした出会いと云う事になる。生れつき頭は福助の様に異常に大きく、手足は比較的きゃしゃで、これでは普通に歩いていても、一寸としたものにもつまづき、何時も頭を打つのではないかと懸念した。毎日の廻診の度に非常に人なつっこい眼で、多少はにかんだ様な顔つきで、うれしそうに迎えて呉れる。まだ3才の子供が私をこんなに受入れて呉れる態度に強く印象づけられた。退院した后も時々あの子は何うしたかなと、ふと考える事もあった。

そして二年が過ぎ、小学校の入学を翌年に控えたある日、母親が小学校入学の事で相談に来た。

普通に村の学校に入れるのが良いか、それとも特殊学級に入れる方が良いか迷っていると。私は自分は専門ではないが、出来れば普通の村の学校へ入れる事が本人の為に一番幸せだと思う。彼の智能は多少遅れていても、情緒は全く安定してい

て、むしろ普通の子供より他人に対するおもいやり、人間的な感情の豊さがあるから心配はないと考える。但し一度専門の医師に診断をして貰ってから御両親が決めたら如何かと云い、丁度その頃東大分院神経科にいた友人K君に紹介状を書き、診断を依頼した。折返し返事が来て、智能は多少遅れているが、現在頭囲が急速に増大して、脳の圧迫症状が出て来る様なら手術も考えるが、現状の儘なら特殊学級に入れるより普通の学校に通った方が良いのではないかと云う。その旨両親に話し、これからは時々頭囲と全身状態を検査に通院する様に本人にも云い聞かせ、診療所に通って来る様になった。

私は当時から村の3ケ所の診療所をかけ持ちしていて、彼の住んでいる南秋川の家の前を通り、南の診療所に週2回通っていた。彼は私が南の診療所に行く曜日をすぐにおぼえて、私が診療所に行く朝は、雨の強い日か自分の具合の悪い日以外は、必ず家の前に出て、大きな頭を小さな体で支え、何時もの一寸はにかんだ、そして何とも云えないうれしそうな顔つきをして、かかさず手を振って私の車の通るのを見ていた。彼は車が好きで、私の車の車種を覚え、更に私の車のエンジンの音を聞き別け、「あっ今先生の車が通る」とよく母親に告げるとの事だった。小学校入学前にも、転んで頭を打ったり顔を擦りむいたりして診療所に来る事が屢々だったので、母親にも本人にも、充分に足腰を鍊える様に注意した。

いよいよ小学校入学。彼、それにも増して両親の喜びは大きかったが、入学して少し時期がたつと、彼本人も、母親も、何となく浮かない顔をして診療所に来る様になった。良く聞いて見ると、「頭でっかち」と云うニックネームをつけられ、同級生からも上級生からもからかわれ、時々めそめそして帰って来る。折角普通の学校に入れても、そんなつまらぬ事で意欲をなくしてはと思い、一彼は入学当時から頭は大人位で特に大きかったが、身体も割合に大きく、大体二年上の連中と同じ位だった――一方では、彼には大きな身体をしているのにからかわれて泣くなんて全く情けない。悪口を云われたら、云い返せ。それでも聞かなければ相手をぶんなぐれと激励し、一方では養護教諭に、水頭症で普通の連中とは多少違うのだから、運動の時等注意して呉れる様にたのみ、ついでに、余り友達にからかわれない様にするには何うしたら良いかを相談してみた。養護教諭は担任と話し合い、担任が上手にクラスを導いて呉れたので、段々とからかわれる事はなくなり、むしろ彼が入学した為に皆がお互に助け合う様な雰囲気が生れて来た様である。亦彼には人一倍の負けん気もあり、学校の体育の時間でも、普通以上に色々な事に挑戦するので、かえって担任の先生が私の所へどの程度迄激しい運動をさせても良いかを聞きに来る事もあった。学業成績は決して良い方ではなかったが、特に変った事もなく、三年生位になると、負けん気と、体の大きさで、かえってクラスをリードする様になって来た。

母は「時々先生に会い度くなる様で、少し風邪でも引くとすぐ診療所に行くと云い、診療所に行っても先生がいない時には、がっかりして帰って来るんですよ。」との事。たまに電話がかかって来る事もあるが、特にこれと云った話があるわけでもない。母親が聞くと、「俺と先生の話だから口を出すな」と云う。

小学校四年の頃だったろうか、頭が痛く、時々気持が悪くなる等の自覚症状が強くなって来たので、丁度其頃から村に月1回精神衛生相談に来て下さるU先生に診察して頂き、脳波異常もあるから服薬が必要だと云われて、服薬を開始。その后現在に到る迄、年に数回の受診と服薬は継続している。

小学校を卒業して中学に入ると、どうしても野球部に入り度いと云い出し、母親が困って相談に来た。中学のクラブの野球は一人だけ特別あつかいにしてうまくやって行けるものではないので、マネージャーなら入っても良いと云う条件をつけて本人も納得の上野球部に入る様話をした。

中学に入ると、今迄の小学校と違い、村のもっと広範囲の生徒が入って来るので、小学校の小人数の中で、担任の先生や友達に支えられて生活していたのと異り、自分の思う様には行かなくなった一学期、登校拒否の始りの様な状態になり、朝起きると頭が痛い、何となく身体が変だ等の理由で休む様な事が起って来た。再びU先生に受診の時に充分相談する様に示指し、その后余りひどくならずに現在中学の三年になっている。身体は私よりも大きく堂々たる体格、声変りし、鼻の下には生毛の鬚が生えて来ているが、未だ顔に子供子

供した感じが残り、何か話しかけると、相変らず伏眼勝ちに、少し照れた様な、はにかんだ顔でうれしそうに笑う。来年高校に入り度いと云っているので、此の間、「今の様な成績では駄目だ、一生懸命勉強しろ」とハッパをかけておいたら、二年の終りの成績は、全体の四分の三より少し良い様である。母親が「少し成績が良くなりました」と報告して呉れた。

小学校一年の頃からの事であるが、私の誕生日を覚えていて、その頃になると自分の小遣からお祝を買って呉れる。親が買って与えようとすると、「これだけは自分の小遣で買うんだ」と主張する。そのかわりたまには手紙をよこしねだられる。何か恋人との関係に近い様な感じのする事もある。中学を卒業して高校に入れれば、何とか一人前にはなれるだろう。すこやかに育って当り前の人間になって貰い度いと念じている。これからもつき合いは続くけれど、村のある男の子と 3 才から 15 才迄の、ふれ合いの概略を記してみた。

"亭主の休日"

松　原　貞　一

5月6日は子供の日の翌日で、今年は日曜日に当り連休となった。桐朋学園高校に通っていた知人の娘さんの卒業演奏に招かれたとかで、女房と娘は昨日の夕方より出掛けたまま帰って来ない。卒業演奏なるものは数多くの卒業生の中でもごく限られた数人だけで、大変名誉なことと宣伝これ努めて出掛けていったが、第一新学期が始まって早や1ケ月が経とうという時、卒業演奏というのも少し変だなと思ったりしていると、案の定娘から電話がかゝって来た。「パパァ？　今演奏会終ったんだけドォ……」と語尾に嫌に力が入る。「ヒデ子さんのママと一緒にお食事をして帰ることになったの。それでネ、チョット遅くなるかも知れないんだけドォ……」と又しても語尾に力が入る。「悪いんだけど、立川まで迎えに来て下さる？」こんな無理を承知の頼み事は、女房は絶対にしない。した所で断られることは火を見るより明らかであることが、永い間の同居生活で身にしみて分っている。分っているからしない。しなければ困る。困るから考える。生活の知恵という奴である。近頃は娘をダシに使うことを覚え、度々この手を使う。当方も初めの内こそ、かかる悪ダクミとはつゆぞ知らず、彼の君ならばニベもなく断るところ、娘の頼みとあればとホイホイ出掛けていたが、いくら鈍感なる当家のアルジとて、度重なるとなれば目は節穴に非ず、いかに密なる謀もやがては見破り、今では桑名の焼き蛤である。しかしそこはそれ当家のアルジも分別、教養を身につけた初老の男、ダメだよとかイヤだよとかいうような品下だりたる不粋な返事は致しませぬ。「悪いナァ、パパはネ、ビールを少し呑みすぎてフラフラしているんだよ……云々」と品よくやんわり断る。電話の彼方で娘に知恵をさずけている女房の声がはっきり聞えて来る。「ソーオ、そんならネ、ママと一緒に麻布の祖母ちゃんチに泊ってもイーイ？」成る程、成る程、敵サンそれを言いたかったのか、一手先を読んで事を謀ったナと気附くも、当方とてオトナ「アー、いいとも、ゆっくりしていらっしゃいナ」とまあこんな訳で、本日5月6日子供の日の翌日の日曜日、先づは女房、娘抜きで始まった。

朝5時目覚ましの音に飛び起き、野球の試合に行くという息子を揺り起す。いつもならこんな悠長なことはしていられず蹴とばして起すのであるが、本日は母性愛の分もありやんわり揺すり起す。昨夜より仕込んでおいた電気釜のスイッチを入れ、目玉焼きを作りハムを焼きキャベツを刻み、それぞれ程々に美しく盛りつける。雨戸を開け外に出、深呼吸などして新聞をとり込む。沸騰したお湯をポットに注ぎ、紅茶かココアか、それともコーヒー牛乳にするかと細かい所まで気を使ってやる。6時30分、朝食の準備完了。パパ悪いナァといつになくしおらしき豚児、珍らしがってウマイ、ウマイと世辞など使う。ナンのこれしきのこと、

愛あればナポレオンならずとも、パパの辞書にも不可能という字はないなどと酒落をとばしながらも、ハンカチは？昼飯は？お金はあるかと更に細かく気を使い、日頃の失点を取り戻そうとする。

6時50分、アディダスのバックを担いで豚児出帆。何を勘違いしたのか、裏につないである柴犬が、散歩に連れて行けとキャンキャン泣き出す。早朝より近所迷惑、五月蠅い奴と思いながらも、飼い主本日極めて気嫌よく怒ったりはしない。頭を撫でオスワリなどさせながらも、早速散歩について行く。天気晴朗、五月晴れなれど、朝早ければ人影もまばら、クワイ河マーチなど口づさみながらアチコチおしっこに附き合う。度々する割には、結構な量が出ているよう。茂みを背にして前足を突張り後足を縮め、当方をジッと凝視めながらウンコをした。その顔は何とも哀れにして情なく、消え入らんばかりの風情である。商売が習い性となり、ソッと便の性状を確めると、何やら血液の如きものの附着せる模様、又蟯虫が湧いたのか、保険証もないくせに何かと物入りな奴と、ピペニン・シロップか何かで何とかならんだろうかと飼い主冷めたい事を考えたりする。（犬の蟯虫は盲腸に寄生するので、内服薬は無効の由、獣医氏の後日談）水をとり変えドックフードを充分与え、居間に上り一息吐く。過日患者さんより頂載致した八十八夜の新茶を出して来、先づは湯呑みに湯を注ぎ、暫らく待って急須につぐ。さすれば、いつも女房殿が入れて呉れる湯茶とは一味も二味も違うようで、思わず溜息が出て来る。七時のニュースを見ながら、2杯目を呑む。あたりを見廻わすと、これは又何とも汚い。今日一日を過すこの居間何とかせねばならじと思えば、不思議な事に立ち上りて掃除などしようという気になって来る。娘の「ゼイ、ゼイ」「ノン、ノン」豚児の「ジャンプ」に「週間チャンピオン」、女房の「家庭画報」「小原流生花」、新聞に週刊誌と一面に散乱、よく見れば医時新報や日医雑誌も出て来る。この件に関しては相ウチということで、悪口雑言は慎しみ整理する。座椅子の蒲団をとり放ってみると、何とその下から紛失した筈の豚児のセイコー・クォーツが出て来たではないか。1週間前から探していたもので、買い直さずによかったとホッとする。朝食の残りを台所に搬ぶも、洗ったりはしない。他人の領分にまで立ち入ることは、当家のアルジが本意ではない。見違えるように、居間がきれいになる。何事もやらないだけで、始めると徹底的にして寸分の妥協も許さぬのが男であるとチラッと思う。朝風呂にでも入るかと湯殿を覗けば、昨夜の湯がそのまま濁って残存し、石ケンやタオルも散乱の有様。これもとも思えど、余り綺麗になり過ぎると、女房の帰りし折立つ瀬の無からんことを憂い、朝風呂は断念し顔だけ洗うことにする。常日頃娘に、たとえ留守居の時でも、便所へ入る時は鍵をかけよ、独りで風呂に入る時でも前はかくせと言い聞かせている手前、本日当家のアルジ独り居といえども、念入りに歯をみがき面を洗う。ドライヤーを操りあるかなきかの髪を整え、昨年愛する豚児が誕生祝いにとて送って呉れた毛はえ薬カロヤン・ハイをたっぷり振りかける。ヒゲ剃りの後には、資生堂グラバス・スキンクリームを塗りたくり、仕上げにカネボーコスメティックスNC・バルカンを程よく振りかけて、鏡に向ってニヤッと笑ってみる。少しのぞいている鼻毛を3本思いっきり抜いて、洗面台の上に並べてみる。驚いたことには、3本共白毛であった。最後にソーッと股間にハイアラージン軟膏を塗って、静かに居間へ引き上げる。8時半、時事放談、細川隆元と藤原弘達の両氏、本日は取鳥県大山の麓の何とかいうゴルフ場での放送、色々メンバーはいるようであるが、時事放談はこのコンビが一番面白い。弘達氏など時には怒り心頭に達したとばかり、思わず此のバカヤローなどと言ったりして、その笑い方の品のなさが何とも面白い。時まさに英国総選挙の直後、サッチャー女主相誕生の折とて弘達氏、「私は今コーフンしている。」と彼の主相が言ったとか言わないとか、政治家はコーフンせにゃいかんと盛んに主張。そういえば、当家のアルジもこの所暫く興奮していないナァと思ったりする。話を聞いているとコーフンとは、公の憤りのことで、アルジの考えていた意味とは些か違っておることに気付き、独り顔を赤らめて頭を掻く。「独りで何ニヤニヤしてるの？いやらしいわねェ」などといづくよりも半帖の入らぬところが、こよなく楽しい。9時になると政治座談会、兼高かおる世界の旅等々本日はいづれも面白くないので、スイッチを切り新聞に目を通す。何とも静かで、幸せである。腹が鳴り、ガスが出る。「少しは遠慮したら…」「下品ネェ」

「ヤーネ」という母娘の声なきが最高。思い切り放屁すれば、身も心も軽くなる。ついでに、ゴルフ雑誌を持って便所へ赴く。いつもはサッパリ出て来ないウンコが、ストレスなければかくやと思う程不思議とスムーズに太く形整いて出て来る。久し振りの御姿なれば、別れ難き心地こそし、水を流しながらも手など振りたくなる気分である。

そろそろゴルフの練習場が開く頃と思い、赤シャツなど取り出して出掛ける。頭残せ、肩廻せ、手首屈るな、腰廻せとアレコレ思い惑らうもの多くして、五月の蒼空に消えて行くべき白球がさして遠くへ行きもせず、見知らぬオッサンにオタクも可成り重症ですナァと憐れまれたりして、大いにショゲ込む。それでも多少汗もかき心地よい疲労感も覚え、気を取り戻して帰宅する。昼食の準備にとりかゝる。夢幻か、いづこからも「昼間から呑むの？」などという声がしない。ヤキトリの罐詰を開け、電子レンジへ入れる。何分かければよいのか判らない。メモにも罐詰の温め方など載っていない。仕方がないので2分と見当をつけ、スイッチ・オン。途端にパチパチと火花が散り、思わず逃げ腰となる。1分半もすると湯気が立ち始めたので慌てて消し、小指を突込んで検べる。程よい温まりよう。ワールド・ナッツ、世界の木の実の罐を開ければ、又しても準備完了。ビールの栓を抜く。世の中に女房子供のなかりせば人の心はのどかからまし……と独り乾杯する。「ゴメンナサイ、ビール入れとくの忘れてたの、燗つきビールだけど我慢しといて」などということはない。かかることもありやと思い、朝豚児を送り出した折物置きより3本持ち出して冷蔵庫の中に入れておいたのである。細工は隆々、用意は周到、男のなすことに抜かりがあろう筈がない。再びテレビを点ける。小松原三夫のゴルフ道場である。大古プロとかいう精力絶倫風が出て来て、打って見せる。間にポール・アンカが唄う。何とかサンシャインとか言って、最後にスーパー・ニカと言う。わがゴルフも、スーパー・ニカを呑まざるが故に上達しないのではないかと、急に不安になる。ビールがなくなる。本日は「程々にしたら」とか「2本も？」などという横槍も入らず、気分よく立ち上って冷蔵庫へ赴く。酔眼モーローとなるも、気分益々良好となる。ヤキトリ程よく温まり舌にとろけるが如くして、何ともいえず美味しい。料理は心という意味がシミジミと分って来る。当家のアルジは多くは望まないし、ましてや欲張りではない。些かの幸せ、この安らぎ、目をつむるとカグヤ姫の如く天にも昇る心地する。座蒲団を折り横になれば、忽ち夢は山のあなたを馳け巡るのである。いつしか陽は落ちあたりは真暗、豚児の帰宅で目が覚めた。そのうち娘より又電話である。「パパァ？お願いがあるんだけどォ……」分った、分ったと彼の目白台の大人の如く、気嫌よく立川迄とばして行く。かくして1日が終った、5月6日という1日が。些かではあったが、本当に幸せな1日であった。そしてこの幸せな1日があったことを、当家のアルジは生涯心に止めて忘れないに違いない。

事業部だより

54年度第1回　学術部会報告

開催日時　昭和54年5月10日　午后3時
場　　所　西多摩医師会館講堂
出 席 者　蓮沼　大橋　東　吉野
　　市原　堀田　清水　大塚

協議事項

A　部運営に関する件
　前年通り
　1.講演会開催
　2.研究会
　3.CPC
　を主活動とする。

B　実施方法
　1.講演会
　テーマ

a 呼吸器疾患
b 肝疾患
以上の二つのテーマを各々2回に分けて基礎から臨床までお話し願う。
又、時間的余裕があれば更に腎疾患を加えたい。
（尚テーマの選択は52年度行ったアンケート調査を参考にした）

2.研究会
51年度消化器疾患、52年度心疾患、53年度脳疾患、の成人病シリーズに引続き、本年度は『老年病』をテーマとして、5～6回開催予定。
尚、研究会総括責任者として前年度鈴木先生に代り、東先生をお願いする事とし、補佐役は清水先生、吉野先生、大塚と決定。
a 老化のメカニズム
b 老年者の循環器疾患
c 〃 精神疾患
d 〃 電解質と輸液
e 〃 薬物療法

3.CPC
前年通り公立3病院が年1回宛担当する。
阿伎留病院　5月～6月の予定
福生病院　10月～11月　〃
青梅市立病院 2月～3月　〃

C 映画とビールパーティー
前年度に引続き、木野村　小林（康）先生にお願いし、8月に開催する。

D 以上講演会、研究会、CPC等の開催日は西多摩医師会報を通じて予告する。
尚、講師の謝礼は、前年通り7万円とする。

医師会日誌

医療機関数	118	病　院	19
		診療所	119
会員数	218	A会員	130
		B会員	88

会　議

5月 8日	役員協議会
10日	学術部会
11日	会計監査会、総務会
〃	学術部会
14日	会報委員会
15日	臨時理事会
16日	保健所連絡会
23日	理事会
26日	臨時総会

講習会・その他

5月 8日	整備会
9日	法律相談
22日	安全運転講習会
5月22日	奇術部会

役員出張

5月 9日	五日市保健所定例会
〃	立川社会保険事務所落成式
18日	都医会長会

会員通知
○各市町村国保の高額医療費貸付に関連し診療費明細書の交付依頼の取扱について
○特別区、市町村国民健康保険証の更新について
○ポスター（健康増進時代）
○会報
○安全運転講習会

退会々員
氏　名　村山　享一
勤務先　目白第二病院

氏　名	アウト	イ　ン	グロス	HCP	ネット	順　位	新HP	その他
近　藤（正）	50	49	99	32	67	1	23	狛江
吉　田	52	49	101	33	68	2	28	狛江
保　坂	45	42	87	18	69	3	16	狛江
藤　川	46	42	88	19	69	4	17	狛江
鈴　木	45	47	92	22	70	5	21	
藤　田	48	49	97	27	70	6	25	狛江
江　本	41	43	84	14	70	7	13	ベスグロ
川　島	50	53	103	33	70	8	32	狛江
足　立	46	40	86	16	70	9	15	
青　井	54	50	104	33	71	10	32	狛江
川　崎	50	49	99	25	74	11	25	
波田野	49	52	101	27	74	12	25	
松　岡	44	46	90	16	74	13	15	狛江
岩　瀬	43	46	89	14	75	14	14	狛江
高　水	47	48	95	19	76	15	19	
宮　地	45	46	91	15	76	16	15	
堤	49	51	100	24	76	17	24	
沖	54	48	102	25	77	18	25	狛江
近　藤（高）	44	46	90	13	77	19	12	狛江
山　口	48	49	97	20	77	20	20	狛江
吉　野	46	46	92	12	80	BB	12	
杉　本	52	50	102	20	82	22	25	

表紙写真説明

調　布　橋

この橋はどこだ！など仰言ってはいけません。南部の先生方は多く利用されている〝調布橋〟です。医師会館の真下で一番近い所にあるのはご存知の通りです。

この橋は大正11年に旧調布村の有志が青梅宿への交通のため村内の寄附を募って造られたのが始りで、風雅な吊り橋で〝調布橋〟と名付けられたとは古い記録の受売りです。現在でもその名残りのワイヤーの台座が両岸に残っています。その後掛替られて現在の鉄の橋になったのは昭和10年5月、長さ103.3 m 幅員6.5 m 高さ20 mとはこの橋を管理している都の建設課からの受け売り。

因みに調布村の地名は明治22年町村制施行の際、友田、上下長淵、駒木野、千ケ瀬、河辺を合せて、当時青梅宿が盛んで多摩川の南岸にも織屋が多く関係の深いこの地名になったらしい。北多摩の調布町は〝多摩川に晒す細布の手にさらさらと〟と云うあの万葉の古歌から付けられたと云う古い因縁がありますが、ここでは時代も下っておるし、それ程の深いいわれはない様です。

原　田　広　吉　（事務局長）

あとがき

「目に青葉、山ほととぎす、初がつお」。風かおる「さつき」。何となく爽やかな時候です。春のとび石連休も、例年を上まわる記録的な行楽客や帰省客だったとか。小生の住む五日市では、これから先、紅葉の季節まで、奥多摩や秋川に自然を求めて訪れるドライバーのため、休日の夕刻ともなると、檜原から続く車の渋滞で大変です。

去年の夏の当番医の時のことでした。やれやれ終了、やっと一杯にありつけるという5時近く、突然の電話のベルに「ドッキリ」。「もしもし。子供が急に熱を出して、診ていただきたいんですが、道路が混んでいて伺えません。何とか往診していただけないでしょうか。」これには弱りました。いくら「何とか」と云われても、先方が来られないような道路事情なら、こちらだって困ります。行きはスイスイの逆方向としても、帰りは何十分かかることやら、ますます晩酌から遠ざかる、というわけですから。全く笑い話のような現実の話です。

五月の上旬には、恒例として全国の長者番付が公表されることになっているようです。折角、爽快な気分に浸っているというのに、何故われわれ庶民の神経を逆か撫でするような不粋なことをするのでしょうか。53年度は、所得1,000万円以上が約30万人（52年度は約26万人）、この中で1億円以上が1,176人、2億円以上が160人もいたとのことで、これを以ってもインフレの進行状態がよく判ります。所得第一位は土地成金氏の22億7,189万円。65位の王選手が2億7,579万円で、長島監督が7,196万円とのこと。そこで、小生の例の悪趣味が頭をもたげ、この三人の税金は一体どの位だろう、と計算した結果は次の通りです。（税金は国税と地方税の合計。所得控除額は標準家庭をとり、国税では140万円、地方税では80万円として計算。）。所得第一位氏は税金が20億9,527万円（92.2％）で、手取り実収が1億7,662万円（7.8％）、王選手は税金が2億3,890万円（86.6％）で、手取り実収が3,689万円（13.4％）、また長島監督は税金が4,985万円（69.3％）で、手取り実収が2,211万円（30.7％）ということになります。（第一位氏の手取りが7.8％に過ぎないこと、また、王の所得は長島の3.8倍であるのに、手取りでは1.7倍であることに特にご注目下さい。）如何ですか？少しは「スカッ」としていただけたでしょうか。それとも余りの重税で気の毒だと思われるでしょうか。それはそれとして、税務署とマスコミの「コンビ」による公表でありながら、所得だけを問題にして納められた税額をしらせない、というのは一体どういう魂胆なのか、と不思議でなりません。

今月は原稿の集りが悪いのではないか、と心配していたところ、御覧のように充実した内容になってほっとしています。御寄稿を依頼申し上げた諸先生方には、快よくお引受け戴きましたことを心から感謝いたします。

最後にお願いを二つ。一つは、御寄稿はなるべく早目に、おそくとも毎月20日（休日の場合はその翌日）までに医師会に到着するようにしていただきたいこと。もう一つは、出来得る限り、会報専用の原稿用紙を使用して欲しい、ということです。これは市販の400字詰め一般原稿用紙と異り、22字×22行の484字詰めとなっていて、会報の$\frac{1}{4}$ページに相当し、編集の便を考えて工夫されたものです。当医師会事務局のほかに各編集委員の手許にも置いてありますので、何卒これをご利用下さるよう、よろしく御協力をお願い致します。

（記　桂木）

昭和54年 6月 1日発行
発行所 西多摩医師会
東京都青梅市西分3－103
TEL（0428）23－2171㈹
会報編集委員　川崎健一郎
松原　貞一　桂木　真　足立　卓三
米山　秀雄　堀田　洋夫　道又　正達
土田　守一　堤　次雄　植田　稔

印刷所　マスダ印刷　TEL（0428）22－3047

くらしの知恵と情報を
ホームバンクの埼玉銀行

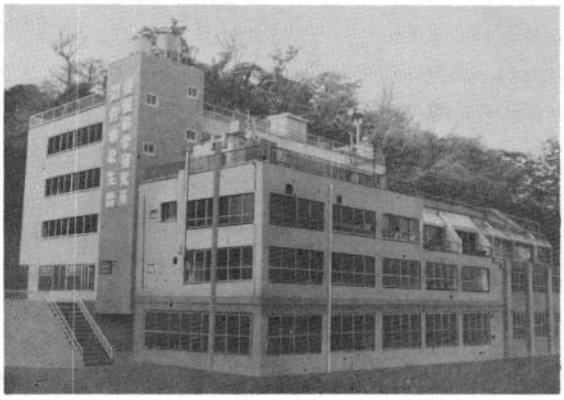
埼玉銀行

青梅支店（TEL.0428－22－1101）　福生支店（TEL.0425－51－1021）
東青梅支店（TEL.0428－22－2121）　村山支店（TEL.0425－61－1211）
奥多摩支店（TEL.04288－3－2515）　五日市支店（TEL.0425－95－1311）

臨床検査センターの雄

保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町１０６
電話 045（333）1661（大代表）
八王子市子安町３－１７
電話 0426（26）2203・2204



○総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
○完全オンラインシステム化を実現致しました。（データー通信システム）
○関係医療機関　約 3,500ヶ所
○広範囲な検査内容
●内分泌学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
●病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査

1都11県の御得意先を毎日定期的に集配致します。御一報を御待ち致しています。

誠意と迅速を旨として

地元に誕生した公認臨床検査センター
先生方の検査室として御利用下さい。

東京都衛医、医第52号

西東京医学研究所

青梅市千ヶ瀬4-374-1
TEL 0428(23) 3573

SANKEN

■健保適用■

ADELAVIN No.9

特　長　ほ乳動物の新鮮な肝臓から抽出したエキスを成分としています。

成分・分量　フラビンアデニンジヌクレオチド…10mg，アデニル酸並びにその誘導体・フラビンモノヌクレオチド・リボフラビンなどを含む肝臓抽出エキス…15μl（約15mg）

適応症　肝機能障害，ビタミンB_2欠乏による疾患，消耗性疾患，薬物中毒，酒毒，ニコチン中毒。

用法・用量　1回1～4mlを1日1～数回，皮下，筋肉内または静脈内に注射します。

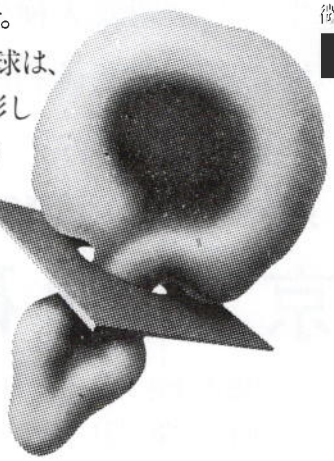
薬　価　1管 593.00

代謝改善剤 アデラビン9号

医薬品製造販売
株式会社 三和化学研究所
名古屋市東区東外堀町2丁目3番地

赤血球の変形能を高め、
脳微小循環での血流を改善する。

脳微小循環への新しいアプローチ。
7.5μ≦3.0μ　直径7.5μの赤血球は、直径3.0μの毛細血管を自ら変形しながら通過します。この赤血球の変形能を高め、脳微小循環の血流を改善するトレンタール。容れ物(血管)ではなく中身(血液)に着眼したヘキストの、新しい治療概念をもつ微小循環改善剤です。



微小循環改善剤〈ペントキシフィリン〉
トレンタール錠
健保適用
Trental
新発売
HOECHST

ヘキスト ジャパン株式会社
医薬品事業部
東京都港区赤坂8-10-16 〒107・TEL(479)5111(大代)

●詳しい用法・用量、その他の注意などは、現品添付文書(能書)をご参照ください。

Cardioprotective Trasacor®
…ストレスから心臓を保護します。

トラサコールは、β-受容体遮断作用のほかに、やや穏やかな膜安定化作用と本剤固有の内因性交感神経様作用(Intrinsic Sympathomimetic Activity：ISA)を有する不整脈・狭心症治療剤で、過剰な交感神経系の刺激から心臓を保護します。

新発売

不整脈・狭心症治療剤
トラサコール®
錠20mg・40mg　CIBA